

5/13 ラジオを通じて広がる支援の輪
FMぎのわん 能登半島地震義援金贈呈式



株式会社FMぎのわん様より、1月に発生した能登半島地震で被災された方々への義援金13万円が日本赤十字社へ贈呈されました。被災地支援のためにラジオ等を通じてリスナーに協力を呼びかけ、義援金を募ったもので、山内一郎代表取締役は「全国から多くの支援の声をいただき、皆さまの被災地に抱く気持ちの大きさを感じました。被災された皆さまが一日も早く元の生活が送れることを願います」と話しました。

5/13 被災地の一日も早い復興をねがって
2024年台湾東部沖地震 救援金贈呈式



4月3日に発生した台湾東部沖地震により、甚大な被害を受けた台湾の復興を支援する救援金100万円が、宜野湾市より日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈されました。松川正則市長は「市と台湾はこれまでも親交があり、毎年市のイベント等を通して交流を行ってまいりました。地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願います」と思いを話しました。

4/25 家族のサポートで掴んだ栄光
第40回全日本級別サーフィン選手権大会報告



昨年6月に福島県で開催された、第40回全日本級別サーフィン選手権大会にて、嘉手納美羽さん(宜野湾中2年)が優勝、中川莉呂さん(琉大附属中3年)が3位に輝いたことを報告しました。嘉手納さんは「優勝したとき、嬉しいよりもびっくりが大きかったです」と、中川さんは「まさか自分が3位をとれると思わなかったので嬉しいです」と話し、ともに、支えてくれた家族へ感謝の思いを話しました。

4/18 玉城デニー沖縄県知事
キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地視察



玉城デニー沖縄県知事がキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地を視察されました。松川正則市長ならびに琉球大学の西田睦学長、大屋祐輔病院長より、琉球大学医学部および病院移転事業について説明しました。ほか、国道へのアクセス道路の整備に関する説明等を行いました。

5/21 お客さまに寄り添い、支え続けた43年間
佐喜眞保さん旭日単光章受章報告



株式会社佐喜眞義肢の佐喜眞保さんが、令和6年春の叙勲において旭日単光章を受章したことを松川正則市長に報告しました。長年、義肢装具士として社会福祉に貢献したことを受けての受章に、今も精力的に現場に立つ佐喜眞さんは「お客さまが、装具を着けてまた日常生活を取り戻す姿を見るのはとても嬉しいですし、何よりこれまでの取り組みが認められたことが感慨深いです」と思いを話しました。

5/13 普天間飛行場の跡地利用に関する「経済財政運営
と改革の基本方針 2024」に向けた要望書の手交



自由民主党沖縄振興調査会(岡田直樹会長ほか4名)が西普天間住宅地区跡地(沖縄健康医療拠点)を視察されました。視察終了後、市長から同調査会会長へ、普天間飛行場の跡地利用に関する経済財政運営と改革の基本方針2024に向けた要望書を手交し「公共用地取得の財源確保」「交付金の充実」「跡地開発に向けた支援」について要望しました。

4/26 近世、近代、戦後の教育の「歩み」
宜野湾市史「ぎのわん教育のあゆみ」完成報告



かねてより編集が進められていた宜野湾市史別冊「ぎのわん 教育のあゆみ」の完成報告が、市教育委員会にて行われました。本誌は、市の教育について、琉球王国時代から現在までの歴史と、時代別の特徴を纏めた内容となっており、仲村宗男教育長は「市の教育の歴史がわかる素晴らしい市史です。この教育の歩みを次代に継いでいけるよう大事にしたいと思います」と思いを話しました。

4/23 地域コミュニティの核となる施設に
野嵩3区公民館建築工事 地鎮祭



かねてより進められていた「野嵩3区公民館建て替え工事」の着工にあたり、地鎮祭が執り行われました。野嵩3区自治会の具志堅幸一会長は「この公民館建設は、歴代自治会長はじめ区民みんなが長年待ち望んだ事業でございます」と話し、松川正則市長は「先輩たちが築いてきた地域のきずなを大切にしていると感じます。野嵩3区のすばらしい発展につながるよう祈念いたします」と話しました。

沖縄平和記念像『原型』復活プロジェクト クラウドファンディングを実施します!!

沖縄平和祈念像原型は、沖縄の偉大な芸術家(故)山田真山画伯が、全戦没者の追悼と世界平和を願い、晩年の18年の歳月を捧げ制作されました。原型は昭和50年の完成から約50年が経過し、ひび割れや剥落があり、劣化が進んでおります。

本プロジェクトは、この原型を修復し公開することにより、宜野湾市普天間から平和を願い、世界へ発信します。

原型の修復には多額の費用を要するため、修復費用の一部をクラウドファンディング*によって全国の皆さまから寄附を募りますので、ご寄附いただけましたら幸いです。

*インターネットを通して、思いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみ。

受付期間

令和6年 6月17日(月)～9月13日(金)

プロジェクト期間中(令和8年度まで予定)に寄附された額の合計が、**5万円以上**の方には、原型展示棟の**奉名板に名前を表示**することができます!

寄附の方法などは、宜野湾市ホームページまたは、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 企画政策課 ☎893-4461(直通)

昨年度の寄附実績額

1,451,000円(51件)

ご支援ありがとうございました。

プロジェクト概要等は
こちらのサイトから
ご覧になれます▶

5/1 皆さまの温かいご協力を宜しく申し上げます
毎年5月は赤十字社員募集増強運動月間



赤十字運動月間開始に伴い「宜野湾市赤十字社員募集増強運動出発式」が行われました。社員は、日本赤十字社で活動を行うための活動資金の事であり、社員(会員)の皆さまからいただく会費「社費」と、皆さまからお寄せいただく「寄附金」から成り立っています。市赤十字奉仕団の宮城勝子委員長は「赤十字の精神に基づき、ボランティア活動を通じて地域社会に貢献してまいります」とあいさつしました。

4/24 宜野湾市情報公開及び個人情報保護に
関する審査会委員 委嘱状交付式



宜野湾市情報公開及び個人情報保護に関する審査会委員への委嘱状交付式が行われ、高良誠さん、長尾大輔さん、南部篤史さんの3名へ委嘱状が交付されました。同委員は、学識経験を有する者等のうちから市長によって委嘱され、情報公開等の開示請求の決定について、不服申立てがあった場合、実施機関の諮問に応じて審査会を開催し、原処分の妥当性を審査することを目的としています。